

京観協だより

2022 Winter

京都市観光協会は、DMO法人として世界の観光をリードするエキスパート集団を目指します

みなさまと共に、京都観光の新たなステージへ

公益社団法人 京都市観光協会 会長 **田中誠二**



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、長引くコロナ禍におきまして多大なご尽力を継続なされていることに、心より敬意を表します。

昨年は、当協会におきましても、事業の中止や変更を余儀なくされた一方、ワクチン職域接種などの新たな取組に挑戦し、11月に発表した「新しい京都観光に向けた共同宣言」では、市民生活との調和を図りながら観光客の皆様を京都へお迎えすることを宣言いたしました。

本年も、「京都観光行動基準（京都観光モラル）」の普及と実践を通じて、市民の皆様、観光客、観光事業者の皆様とともに、京都観光の進化に向けて全力を注いでまいります。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたしますとともに、一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

魅力あふれる京都を共々に未来へ！

京都市長 **かど かわ だい さく 門川大作**



あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍の厳しい日々でしたが、皆様の御理解、御協力の下、医療体制を強化、ワクチン接種も大きく進みました。そして迎えた新たな年。第6波に備えつつ、市民生活や観光の下支え、回復に全力投球します。

昨年3月、本市では京都観光の復活に向けた羅針盤として「京都観光振興計画2025」を策定。さらに11月には、京都市観光協会や観光関連団体の皆様とともに、市民の皆様暮らしに寄り添う、新しい京都観光に向けた共同宣言を発信。市民生活と観光が調和し、市民が豊かさを感じられる、より持続可能な観光を目指します。

魅力と活力ある京都のまち、持続可能な未来へ。覚悟を決めて市民・事業者の皆様と共に歩みを進めてまいります。

事務所移転のお知らせ

昨年の12月6日に下記のとおり事務所を移転いたしました。

これまで、事務所が1階と3階に分かれておりましたが、この度の移転によりワンフロアで業務を行うこととなりました。

今後とも、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

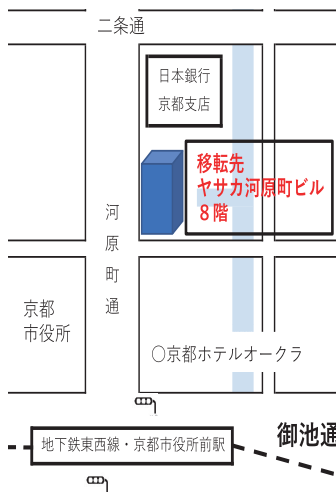
【新住所】

〒604-0924

京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町384番地
ヤサカ河原町ビル 8階

TEL：075-213-1717 FAX：075-213-1011
(TEL・FAX番号に変更はございません)

※修学旅行相談窓口業務についても、新事務所にて行っております。



データで振り返るコロナ禍の京都観光

こんにちは。京都市観光協会マーケティングを担当している堀江です。

コロナ禍の影響で京都観光は大打撃を受け、一時は京都市内主要ホテルの客室稼働率は5.8%（2020年5月）にまで下落しました。その後、感染症対策や消費喚起キャンペーンなど様々な対策が行われたことで、回復の兆しが見えつつあるものの、コロナ禍以前の状況に戻るまでの道のりはまだ長そうです。そんな中でも、会員企業の皆様には、当協会のデータマーケティングの取組に様々な形でご理解・ご協力をいただいております。今年度からは3か月先までの需要予測を開始するなど、日に日に充実した情報をお届けできるようになってまいりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。おかげさまで、観光分野におけるデータ活用は、京都が最も進んでいるというご評価をいただくことも増えております。

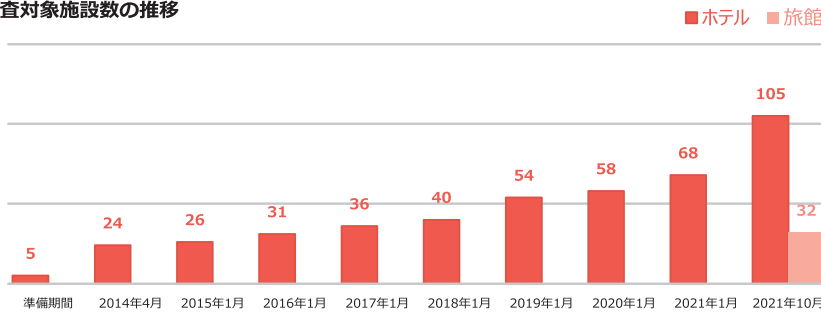
また、これらのデータを皆様にもご活用いただけるよう、データ集計・分析ができるWEBページの提供も始めました。会員の皆様には無料でご利用いただけます。詳しくは、このページ右下のご案内をご確認下さい。



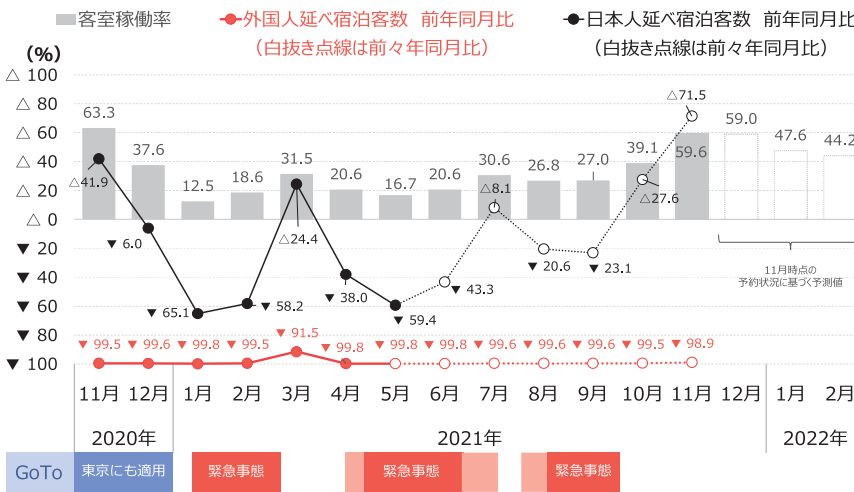
堀江 卓矢

マーケティング専門官

調査対象施設数の推移

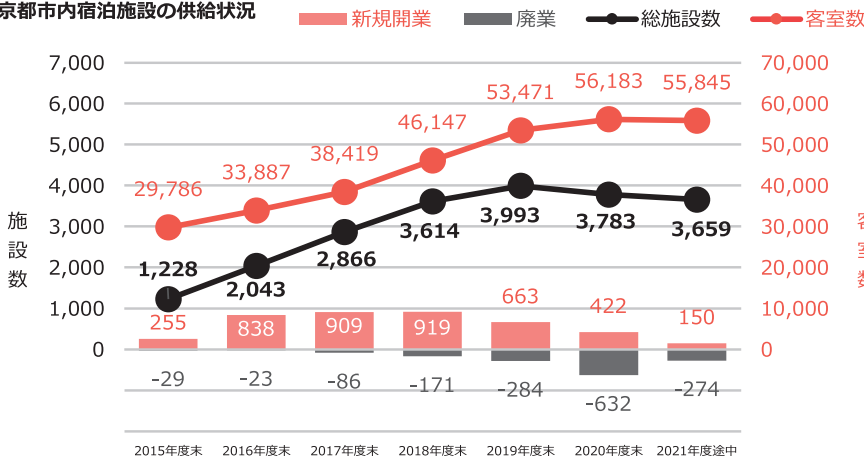


- 京都市観光協会データ月報は、会員である宿泊施設の皆様からデータ提供のご協力をいただき毎月発表している統計です。
- 2014年の統計開始のときには24施設だった調査対象施設がおかげさまで今年度100施設を突破し、市内ホテルの客室の半分をカバーする統計となりました。
- 4月からは旅館統計の発表を開始。今後も拡大を目指します。



- 2021年の市内主要ホテルの客室稼働率は、コロナ禍の影響で20%前後を推移する時期が長く続きました。（コロナ禍前はほとんどの月で80%を超える水準でした）
- 昨年11月はGoToトラベルキャンペーンの影響で一時的に国内観光客の需要が増え、客室稼働率は63.2%にまで達しました。今年はGoToトラベルキャンペーンがまだ始まっていないものの、ワクチン接種が進んだことで旅行する人が増えており、11月の稼働率は59.6%まで上昇しました。
- 外国人観光客の需要はほぼゼロの状態が2年近くにわたって続いています。コロナ禍前は宿泊客の4割程度を占めていたインバウンドが戻るまでは、厳しい状況が続くことが予想されます。

京都市内宿泊施設の供給状況



- 京都市内の宿泊施設数は、2019年度に4,000件近くにまで増加しましたが、コロナ禍以降は簡易宿所（ゲストハウス、民宿など）の事業撤退が相次いだことで、微減に転じています。
- 客室数は2015年度末から2倍近くの約5.6万室にまで増加しました。近年、かねてより計画されてきた大型の高級宿泊施設の開業が相次いでいることから、市内の客室数が維持されていると考えられます。
- 今後も、当協会が把握している限りで、約3,000室の新規供給が見込まれています。今年度の廃業件数は2020年度を下回る見込みであるものの、今後もしばらくは事業者の入れ替わりが続くことが予想されます。

各月の詳細のレポートはこちらから
ご自由にダウンロードいただけます



会員専用のデータ集計・分析機能
(ダッシュボード) ははこちらから
お申込みください(無料)
パスワード: Et5xM4F3

